

Let's FAB!

レッツファブ!

ファブラボ栗山がお届けする季刊誌

2024.04
vol.4

ラボスタッフによる地域課題プロジェクト「①農業編」

地域おこし協力隊として活動する鈴木敦文（すずき あつふみ）隊員は、栗山町における課題調査の過程で、新規就農者の方たちから「家と畑まで距離があり農地の状態を確認するのが大変」「ビニールハウスの状態が現地に行ってはじめてわかるので対応が遅れたら大変なことになる」など様々な問題を抱えていることを知りました。そこで、プログラミング技術によりセンサーや遠隔カメラなどを活用し、スマートフォンからハウス内の状況を確認できる仕組みを開発し、何度か実験と修正を繰り返しながら問題解決に至ることができました。

今回の事例をもとに、農業者自身でもプログラミングスキルを身に付けて、遠隔地の情報を取得できるようになる講座を開発中です。ご興味のある方はファブラボ栗山までお問い合わせください！



現場調査の様子



センサーとカメラを設置している様子

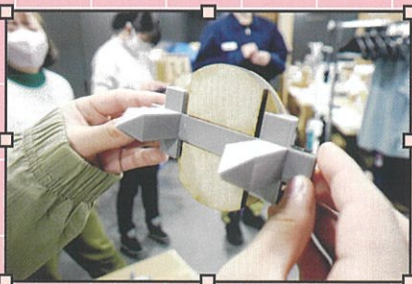


スマホから確認する情報画面の様子

ラボスタッフによる地域課題プロジェクト「②介護福祉編」

ラボスタッフの土山俊樹（つちやま としき）は、北海道介護福祉学校2年生がゼミ活動として行う「地域活動研究（生活支援グループ）」において、学生がラボを活用しながらものづくりを通じて様々な課題解決を行うサポートをしています。2023年度のテーマは「防災」で、災害発生時に学校が避難所となることを想定し、校内の安全な環境づくりに向けて学生たちがアイデアを出し合いながら製品開発を行いました。

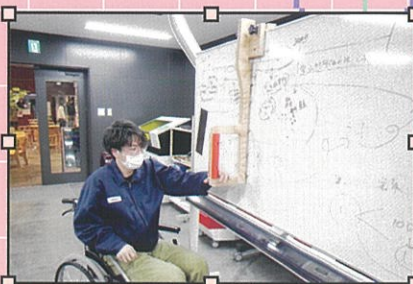
物資が行き届かない状況を想定し、学校内の備品や段ボールなどを活用した避難生活を支える道具として、誰でも簡単に段ボールベッドや家具をつくれる「デカホッチ」と、仮設のパーテーションとしてホワイトボードに取り付け可能な手すり「スタンダードくん」を製作しました。



デカホッチの全体像



発表会でデカホッチを使う様子



スタンダードくんを使う様子

地域課題プロジェクト・・・ラボ利用者自身が身の回りの課題を発見しまちの課題解決へつなげるプロジェクトのこと

ものづくり体験ワークショップ（4月）のお知らせ

くりやま老舗まつり×ファブラボ栗山 『オリジナル升彫りワークショップ』

「くりやま老舗まつり」とのコラボ企画として、小林酒造さんの「北の錦」と谷田製菓さんの「きびだんご」のイラストを升彫りさせていただきました！これに、自分の描いたイラストや文字をレーザー彫刻し、世界にひとつだけのオリジナルの升をつくりませんか？大切な人へのプレゼントとして日頃の感謝をメッセージにすれば素敵な記念にも！

- ・ 4月2日（火）以降からお申し込みできます。
- ・ 参加希望の方は下記の通り栗山煉瓦創庫くりふとにお電話 またはファブラボ栗山のWEBページ（右記QRコード先）からお申し込みください。
- ・ スタッフがサポートしますので、年齢を問わず誰でもご参加できます。



日程	定員・対象・参加費	製作事例
4 / 13（土） ① 09:30 ～ 10:15 ② 10:30 ～ 11:15 ③ 11:30 ～ 12:15 ④ 13:30 ～ 14:15 ⑤ 14:30 ～ 15:15 ⑥ 15:30 ～ 16:15	各回 6 名 （先着受付順） ※小学生以下の参加は保護者同伴	
4 / 14（日） ① 09:30 ～ 10:15 ② 10:30 ～ 11:15 ③ 11:30 ～ 12:15 ④ 13:30 ～ 14:15 ⑤ 14:30 ～ 15:15	参加費：無料	

Okay

利用申し込み・問い合わせ先

詳細情報やご利用のお申し込みはウェブサイトのほか、お電話でも承ります。
ファブラボ栗山に関するお問い合わせは下記メールアドレスまでご連絡ください。

ファブラボ栗山

検索

ウェブ: <https://fablabkuriyama.jp>

メール: info@fablabkuriyama.jp

電話: 0123-76-9945

※栗山煉瓦創庫くりふと代表電話につながります。
※お電話での受付日時は9:00～22:00となります。

WEBサイト

Instagram



アクセス 栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫くりふと」内

北海道夕張郡栗山町中央3丁目154番地1
専用駐車場有り ※満車の場合は近隣の駐車場をご利用ください。

